

学校教育への将棋導入推進事業



学校に将棋を導入してみませんか

学校教育への将棋導入事業とは、学校内において、将棋というわが国が誇るべき伝統文化にふれることにより、日本文化の理解を深める機会を設け、礼儀作法の習得、集中力や忍耐力、相手を思いやる気持ちなど 児童・生徒の豊かな心や生きる力をはぐくむ機会を設けます。将棋を通じ社会に貢献することを目的に行われます。

将棋とは

- 将棋の祖先は、古代インドのチャトランガというゲームと言われています。時代を経て、それぞれの国の将棋へと進化しました。日本の将棋はわが国独自の文化です。
- 将棋を通じて、礼儀マナー自ら考えて決断することや相手への思いやりなど、教育的効果が認識されるようになってきました。
- 将棋は生涯の娯楽です。友達同士はもちろん、兄弟姉妹・親子・祖父母と孫など、誰もが楽しむことができます。将棋は地域や世代をつなぐツールです。

将棋で育てる4つの力

1. 礼節マナー

将棋は、礼にはじまり礼に終わるとされています。

対局がはじまるときには「お願いします」と一礼し、対局が終われば「ありがとうございました」と一礼します。

勝ち負けだけでなく、相手へ礼儀を尽くすことを学びます。

2. 洞察力・判断力

将棋は、盤上にすべての情報を公開しています。

その情報から自身が勝っているのか負けているのかを洞察し、現在の状況をこのあとどう進めるべきかを判断しなければなりません。

それらを自ら考えることで洞察力や判断力が自然と身に付きます。

3. コミュニケーション力

将棋は一人ではできません。必ず対局には対戦相手が必要です。

また、対局後に行われる感想戦では、お互いがどう考えたかを話し合います。そこには、友達との出会い、地域との交流、世代を超えた絆が生まれ、そのなかでコミュニケーションも磨かれていきます。

4. 思いやりの心

将棋が勝ち負けを競うものである以上、必ず勝者と敗者が存在します。

勝ち負けは、自らが戦局を洞察して判断した「決断」の結果として、決して他人のせいにはできません。

白ら負けを認める力が、後に相手を思いやる心へと必長していきます。

支援内容

講師派遣

総合学習やクラブ活動、部活動など将棋教室を立ち上げる場合や、文化祭や講演会にて将棋講座を開催する場合に、講師を派遣します。

- 講師の1回の指導時間は2時間を限度とします。
- 申請者は、学校（小・中学校・高校）・教育委員会・学校内で実施する放課後等の活動団体のいずれかとします。
- 派遣講師は、棋士・女流棋士・将棋普及指導員のいずれかとし、講師の選定は将棋連盟にて行います。受講人数10名程度につき講師は1名程度を目安とします。
- 原則として、講師の交通費・宿泊費は申請者負担です。講師料は一部負担をお願いします。
- 開催日等により希望申請に添えない場合があります。

将棋用具の支援

総合学習等で盤駒が不足している場合無料貸出しを行います。送料はご負担下さい。学校備品としての盤駒のご購入につきましてはご相談ください。

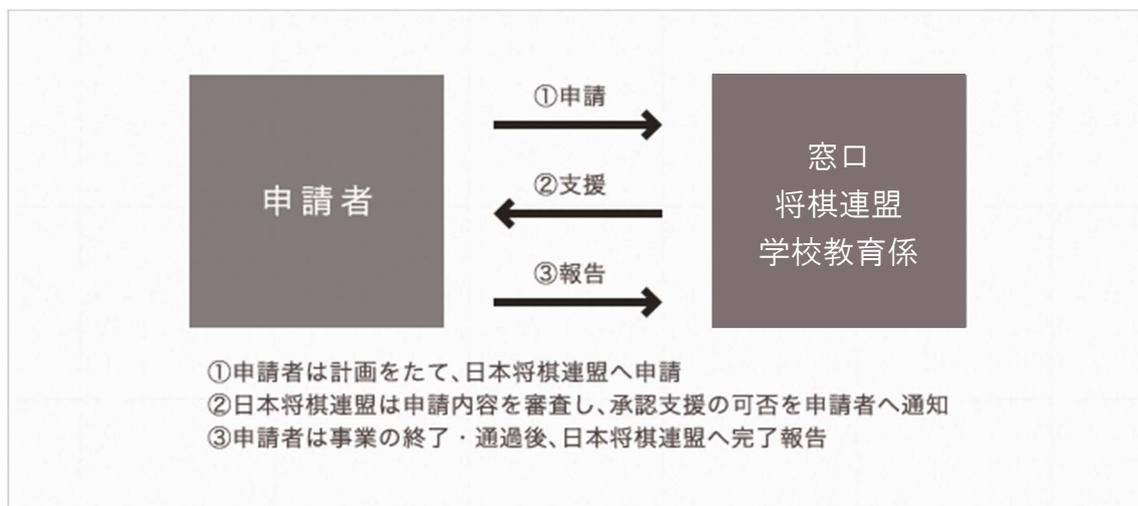
将棋パンフレットの配布

総合学習やクラブ活動などの正課授業や部活動、放課後教室で将棋パンフレットが必要な場合は配布をします。

- パンフレットは無料です。送料は、申請者が負担ください。
- 将棋パンフレットは、初めて将棋に触れる子どもを対象に作成された将棋のルールや歴史がわかる小冊子など、3種類ございます。

申請について

申請の際は、所定の様式を使用してください。（申請書は将棋連盟HP、もしくはお問い合わせにてお取り寄せください。）



- 支援事業は単年度で完了するものとし、同支援事業を次年度も継続する場合は新たに申請手続きをしていただきます。
- 申請内容を変更する場合には事前に速やかにご報告下さい。申請内容の変更によっては、承認後であっても承認を再検討させていただく場合があります。
- 学校教育への将棋導入推進事業の支援額が年度予算額に達する場合、又は超過する場合にはご希望に添えない場合もあります。

事例紹介

1. 総合学習3コマ分を取り入れてもらう事例

- 渋谷区立千駄ヶ谷小学校

<https://www.shogi.or.jp/event/2016/06/2016-no1.html>



2. 2コマを使って1日で終わらせる事例

1コマ目は将棋の歴史などを知り、2コマ目は実際に将棋を指してみます。

- 相模女子大小学部

https://www.shogi.or.jp/event/2023/01/post_1805.html



2クラスで行う場合は、1クラスは1・2時間目で行いもう1クラスは2・3時間目で行う、というようにずらして開催する方法もございます。

3. 講演会のように体育館等で行う事例

- ・中野区立第四中学校

https://www.shogi.or.jp/event/2019/01/post_1638.html

- ・武蔵野市立本宿小学校

https://www.shogi.or.jp/event/2022/09/post_1791.html



4. その他

サマースクールやウィンタースクールの講師

クラブ活動や部活動の講師として技術指導 など

お問い合わせ・申請・報告先

- 東京本部 学校教育係 〒151-8516 渋谷区千駄ヶ谷 2-39-9
TEL : 03-3408-6165 FAX : 03-3404-7301 Email : gakkou@shogi.or.jp
- 関西本部 学校教育係 〒553-0003 大阪市福島区福島 6-3-11
Email : kansai-fukyu@shogi.or.jp

公益社団法人日本将棋連盟ホームページより

<https://www.shogi.or.jp/about/activity/education/>

